

【第2回】講義概要紹介 10月21日(火)

■ 講師

【略歴】

昭和 36 年	三豊市仁尾町出身
昭和 58 年	神戸大学工学部建築学科 卒業
昭和 60 年	神戸大学大学院工学研究科(建築学専攻) 修士課程修了(西洋建築史専攻)
昭和 60 年	(株)藤木工務店 入社 (東京支店設計部勤務)
平成 2 年	(株)菅組 入社
平成 20 年	同社代表取締役社長に就任

【講師紹介】

仕事の傍ら「バーハ小屋研究会」を立ち上げるなど、地域資源の発掘などのユニークな活動も行う。2001 年「近くの山の木で家をつくる運動」に賛同、地域グループ「讃岐の舍づくり倶楽部」を立ち上げ国産材・地域材の利用促進に動く。

現在も香川県産材の利用促進に積極的に取り組む。

一級建築士、ビオトープ管理士

趣味はスキー、ビオトープ、バーハ小屋探索、出水探索、集落への旅、建築巡り、植樹などイタリア好き

尊敬する経営者：イヴォン・シュイナード

好きな音楽：ボブ・ディラン、あいみょん



菅 徹夫
(すが てつお)

株式会社菅組
代表取締役社長



【株式会社菅組について】

私たち菅組は、明治 42 年の創業以来、建造物を通して人々の暮らしを見つめてきました。それぞれの時代に、人々が望んでいる価値ある建造物を提供。企画力、技術力、独創性を発揮して、その実績を積み重ねてきたのです。そのベースにあるのは「地域で愛される総合建設会社」でありたいという思いです。具体的には病院/社屋/工場/店舗/学校/文化施設/商業施設/社会福祉施設/社寺/住宅/リフォーム/古民家改修など、さまざまな建築を通してまちづくりに貢献してきました。今後も図面の向こう側にある、人と暮らしと社会を見つめながら、技術と企画力を備えた総合建設会社として地域に密着した活動を続けていきたいと思っています。

■ 講義概要

今、建築に何が可能か？



建築をつくる集団として、今私たちに求められていることは何なのか？建築業界や社会を取り巻く状況から私たちの向かうべき方向性を模索してきています。そんななかで、ここ数年取り組んできた新たな試みやこれから向かっていきたい方向性などをご紹介できればと考えています。必ずしも成功している、成果の出ている取り組みばかりではありませんが、今後も「建築に出来ること」を探し求めて行きたいと思っています。